



熱意

小美玉市立小川南中学校 学校だより
NO. 36 令和3年1月25日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成
キーワード 熱意と誠意 ～ 本気で 明るく 粘り強く ～

新型コロナ 足下まで

県独自の緊急事態宣言が発出されてから1週間。近隣の高等学校でも感染者が確認され、臨時休校の措置がとられています。本校でも休校している高校に兄弟が通学している生徒もおります。いよいよ、すぐ近くまで近付いてきていると感じます。

さて、密閉空間でないことや熱中症予防の観点から、生徒の登下校の際のマスクは着用しなくてもよい、との指導をして参りました。しかし現在、緊急事態宣言が発令されていることから、登下校時のマスク着用をすることにいたしました。

保護者の皆様にも、ご理解とご協力をお願いいたします。



スクールロイヤー講演会



20日(水)、いじめ撲滅のためのスクールロイヤー講演会を開催しました。

講師においでいただいたのは、弁護士の方(二井矢法律事務所)です。先生は学校でのいじめ問題について詳しく、沢山の学校で講演をなさっているそうです。小美玉市では、本校以外の中学校はすでに講演なさったそうで、南中が最後だとおっしゃっていました。

講演では、法的な立場から「いじめ撲滅」について分かりやすくお話をしていただきました。特に「心のコップ」の話はとても分かりやすく、生徒にもよく理解できたようです。

本校で行われている「いじめ」O"カルタと合わせて、いじめに対する意識が高まったように感じます。



全国いじめ問題子供サミット参加



23日(土)、全国いじめ問題子供サミットが開催されました。これは、全国の小中学生がいじめ問題について、

実践発表をしたり、意見交換をしたりするものです。茨城県では本校のみの参加となり、実践発表もしました。この会議は、オンラインで全国をつなぎ、地元にながら会議をするという形をとりました。コロナ禍ならではの開催形式です。

小川南中からは、生徒会の中里会長、沼田副会長、山中副会長の3人が参加しました。3人は、少し緊張気味でしたが、「いじめ」O"カルタなど本校での実践を分かりやすく丁寧に説明することができました。また、発表後の話し合いでは、積極的に発言する姿がありました。サミットを終えて中里会長は、「全国の人たちと話ができて貴重な経験になった。学んだことを学校そして地域へと広めて、いじめをなくしたい。」と答えていました。



「キットカット」寄贈

この度、スカイマーク株式会社茨城空港支店から、キットカット800個が寄贈されました。これは、コロナ禍で飛行機が飛ばないために、機内食で提供していたキットカットが賞味期限間近になってしまい、市内の幼稚園・小中学校へ寄贈してくださったものです。

本校では、本日と明日の2日間、給食の時間に配られます。

思いがけないプレゼントに感謝いたします。

